

議事要旨

会議の名称	第 8 回砧地区公共交通協議会
開催日時	令和 5 年 2 月 3 日 (金) 19 : 00 ~ 20 : 40
出席者 (敬称略)	砧町町会 : 長島、山根、松原 砧町自治会 : 鈴木、山家 祖師谷南商店街振興組合 : 阿久津、小島 事務局 : 交通政策課長 堂園、交通企画担当係長 尾崎、 交通企画担当 齊藤、小田桐、大高 砧まちづくりセンター : 所長 佐藤、係長 石綿 運行事業者 : 東急バス株式会社 式守係長、長谷川
議題	1 公共交通不便地域対策 (砧モデル地区) の実証運行について 2 その他について
議事要旨	<p>1 . 公共交通不便地域対策 (砧モデル地区) の実証運行について 令和 5 年 5 月から予定している実証運行の概略等を報告した。 また、地域への情報発信の方法等、今後の予定について確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PR にあたっては、乗降地点の名称を利用者にとってわかりやすい表現にするなど工夫が必要である。 ・ 高齢者の割引証発行については、利用者・運行事業者双方にとって極力負担の少ない発行形態を考える必要がある。 <p>2 . その他について 東急バス株式会社より、予約システムについて動画 (宇奈根・喜多見地区の予約システム) を用いて説明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スマホを日常的に利用している方にとっては、簡単に予約できると思うが、高齢者にとってウェブでの予約はなかなか難しく、孫や若い人にやってもらう状況も多いと思われる。そういう点で、電話の予約が多くなるかもしれないので、丁寧な対応をしていくことが望ましい。 ・ 定期的に運行状況のモニタリング会議を開催し、乗車状況などを協議会・運行事業者・区の 3 者で情報交換し、改善策を検討していく必要がある。実証運行までに、開催の頻度ややり方を調整していく。 ・ オンデマンドやコミュニティ交通といった言葉はわかりにくいと捉えられる可能性がある。地域に浸透させるためにわかりやすい愛称があったほうが良いが、実証運行開始に向け名前を公募するのは、募集期間なども考えると難しい側面がある。地域に浸透してきたタイミングで、愛称の募集をするという段階を踏んだやり方もあるのではないか。 ・ 3 月頃にニュースの第 2 号を発行し、PR していくとともに、実証運行に向けて説明会や予約の仕方に関する講習会などの開催を検討していくことを確認した。